

第71回

全国理容競技大会

in SHIZUOKA

令和元年10月21日(月)静岡市のグランシップ静岡大ホールで「ふじのくにから世界の頂きへ」をテーマに第71回全国理容競技大会が開催され、広島県選手団は若山広島県教育長を団長に5名の選手が出場しました。『第1部門Barber Style』に花本真也選手、『第2部門レディスカット・パーマスタイル Tlish(人間モデル)』に西村昌記選手、同『第2部門(マネキン)』に西部昂太郎選手、『第3部門メンズカットパーマスタイル』に田浦宏光選手、『マスタースタイリスト部門(ふじのくに髪技大賞)』に山崎賢治選手がエントリーしました。

大会会場のグランシップ静岡は、JR東静岡駅のすぐそばにあり日本一の富士山を望める場所です。20日に現地入りした時は霞の向こうに薄っすらと見えた富士山でしたが、大会当日は厚い雨雲に阻まれその姿を拝む事は叶いませんでした。

午前8時30分より各県の選手団が一堂に会し、開会式が始まりました。島津義直大会実行委員長の開会挨拶に続き、大森利夫大会委員長の挨拶、来賓の方々の挨拶などがあり、選手宣誓へ。午前9時50分遂に競技開始です。第1部門Barber Styleから熱戦の火蓋が切られました。順次第2部門、第3部門、ジュニア部門、マスタースタイリスト部門、そして令和2年にOMC世界大会が横浜で開催されるので、それに合わせて世界大会種目(1部~6部)が行われました。

理事長、役員、県講師、各部門コーチ、応援に駆け付けた仲間達の熱い声援を受け、各選手は真剣な眼差しで自分の競技に集中しタイムアップぎりぎりまで持てる力・技量を出し切りました。戦い終わるとホッとした安堵の表情を浮かべていました。続いて理容2019メッセージ全国大会が始まり、中国協議会代表の辰巳裕子さん(鳥取県理容組合)が「花のある理容店」をテーマに話されました。表彰式までには、時間があるのでその間にダンスパフォーマンスが行われ、大音量の中で躍動感溢れるダンスに見とれてしまいました。

そして、いよいよ表彰式の始まり。最初に「理容2019メッセージ全国大会」から発表です。続いて、世界大会種目(1部~6部)、ジュニア部門、マスタースタイリスト部門、第3部門、第2部門、第1部門と発表されました。しかし、残念ながら今回、広島の選手はステージに上がることは出来ませんでした。ただ、第2部門レディスカット・パーマスタイル「Tlish」(マネキン)に出場した西部昂太郎選手は、4位と大健闘でした。この部門は3位までの表彰だけでした。敢闘賞があればステージに上がっていたのに残念です。でも、良かったですね。

各部門の選手も入賞とはなりませんでしたが、これまでに努力してきたことは決して無駄ではなく明日の糧になります。また、てっぺんを目指し再チャレンジしてください。応援します。

三住理事長、県役員、県講師、広島から駆けつけた応援団の皆さん、大声援ありがとうございました。また、静岡県理容組合の島津義直理事長を始め、実行委員の皆様、お疲れさまでした。この大会が成功裏に終わりました事にお慶び申し上げます。

次回は2020年東京オリンピックの年で第72回全国理容競技大会は、島根県の開催となります。素晴らしい大会になるようお祈りします。

(県文化広報部 川村 哲司)



第1部門 Barber Style



花本 真也選手



第2部門 レディスカット・パーマスタイル Tlish(人間モデル)



西村 昌記選手



第2部門 レディスカット・パーマスタイル Tlish(マネキン)



西部 昂太郎選手



第3部門 メンズカットパーマスタイル



田浦 宏光選手



マスタースタイリスト部門(ふじのくに髪技大賞)



山崎 賢治選手

